

試料・情報利用研究計画書(概要)					
研究番号	2026-1015	利用形態	共同研究		
研究題目	大規模コホートでのMRI撮像による未成年の脳形態・脳機能の縦断的評価の基盤整備に関する研究		研究期間 (yy/mm/dd)	2026/4/28	～ 2027/3/31
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門 個別化予防・疫学分野		責任者 氏名・職	寶澤篤・教授	
分担研究機関	加齢医学研究所		責任者 氏名・職	松平泉・助教	
研究目的と意義	東北メディカル・メガバンク計画の脳と心の健康調査に参加した成人および、三世代コホート調査に参加している児および同胞に行われたMRI検査によって得られた脳画像データからMRIパラメーターを算出し、家系間相関の検討を行います。この研究により、親世代、祖父母世代といった多世代(multi-generation)でのMRI画像データとの検討し、MRIパラメーターの家系内相関を探索します。				
研究計画概要	本研究では、東北メディカル・メガバンク計画脳と心の健康調査に参加した成人、三世代コホート調査に参加している10～17歳の児および同胞を対象として、脳構造データの基礎的集積を行います。撮像シーケンスは成人と未成年は同様に、3次元T1強調像、T2強調像、拡散テンソル画像、MR Angiography、resting-state functional MRI等を含みます。取得されたMRIデータはvoxel-based morphometryおよびsurface-based morphometry等により解析し、脳構造指標を算出します。さらに、これらの指標について基本統計量を算出するとともに、親子間または家族間(三世代も含む)のPearson相関係数を求め、無関係ペアとの比較を行うことでMRIパラメーターの家系内相関を検討します。				
利用試料・情報	対象： ☐ 地域住民コホート調査 ☒ 三世代コホート調査 ☒ 脳とこころの健康調査 ☐ その他 () 調査期間： ☒ ベースライン調査期間 ☒ 第2段階調査期間 ☒ 第3段階調査期間 ☒ 第4段階調査期間 ☐ アドオン研究 試料： 最大()人分 ☐ DNA ☐ 血漿 ☐ 血清 ☐ 尿 ☐ 母乳 ☐ 単核球 ☐ EBV不死化細胞 ☐ 増殖T細胞 ☐ その他の試 () 情報： 最大(12,000)人分 ☒ 基本情報 ☒ 調査票情報 ☒ 家系情報 ☒ 検体検査情報 ☒ 特定健康診査情報 ☒ 生理機能検査情報 ☐ がん登録情報 ☐ メタボローム解析情報 ☐ マイクロバイオーム情報 ☒ 認知・心理検査情報 ☒ MRI画像解析情報 ☒ MRI画像情報 ☐ 全ゲノム解析情報(全て) ☐ 全ゲノム解析情報(特定領域) ☐ SNPアレイ情報(全て) ☐ SNPアレイ情報(特定領域) ☐ その他の情報 () ☐ 岩手の試料・情報を使用する				